

集落対策を検討するに当たっての論点（案）

1 過疎集落等の現状認識

- 過疎集落等における人口減少、著しい高齢化の進行、若年者の減少等をどのように見通すか。
- 過疎集落等の直面する諸課題をどのように整理するか。
- 過疎地域における集落機能の低下をどのようにとらえるか。
- 日本全体が人口減少する中、更なる人口減少と著しい高齢化に直面し、存続が懸念される過疎集落等の今後のあり方をどのように考えるか。

2 これまでの施策の検証

- 集落点検は各地でどの程度実施されているのか。そのための市町村の実施体制は確保できているか。
- 集落点検を踏まえた集落活性化プランがどの程度作成され、実施されているのか。また実施・支援の主体はどのようなメンバーになっているか。
- 低下する日常生活に係る集落機能の維持確保のために行っている集落間の連携としてはどのような取組が有効か。
- 過疎債や交付金を活用した事業の成果をどのようにとらえるか。
- 集落の維持・活性化に向けて、不足しているものは何か（ヒト、カネ、その他）。
- 都道府県は市町村の集落対策を支援するためにどのような取組をしているか。

3 今後の対策のあり方

- これまでの施策の検証を踏まえ、今後の集落対策としては、国としてどのような支援を行うべきか。
- 都道府県の役割をどのように考えるか

4 その他地域の構造変化を踏まえた過疎集落等のあり方

- 地方圏における定住の受け皿である定住自立圏構想や地方中枢拠点都市等を中心とした連携を進めていく中で、今後の過疎集落等のあり方をどのように整理するか。
- 都道府県等による代行（代替執行）制度の拡充の動きを踏まえ、どのような活用が考えられるか。
- 過疎地域以外でも生じる集落問題についてどのようにアプローチすべきか。